



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

平成31年第1週(平成30年12月31日～平成31年1月6日)

2019年1月9日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~1週
	第52週	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	第52週	第1週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(44)			(17)			(4)			(10)			(13)			
インフルエンザ	54517 11.17	273 5.93	301 6.84	▲	131 6.89	125 7.35	▲	69 ◎17.25	79 ◎19.75	△	57 5.70	41 4.10	▼	16 1.23	56 4.31	▲	301
小児科定点 (定点医療機関数)		(28)			(11)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1720 0.55	17 0.57	13 0.46	▼	6 0.46	3 0.27	▼		1 0.33	△	8 1.33	7 1.17	▼	3 0.38	2 0.25	▼	13
咽頭結膜熱	1777 0.57	15 0.50	4 0.14	▽	6 0.46	3 0.27	▽	3 ◎1.00		▽	1 0.17	1 0.17		5 0.63		▼	4
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6854 2.20	84 2.80	29 1.04	▼	36 2.77	19 1.73	▼	5 1.67	1 0.33	▼	26 4.33	6 1.00	▼	17 2.13	3 0.38	▽	29
感染性胃腸炎	23624 7.58	195 6.50	88 3.14	▼	77 5.92	33 3.00	▼	23 7.67	14 4.67	▽	43 7.17	31 5.17	▼	52 6.50	10 1.25	▼	88
水痘	1697 0.54	24 0.80	10 0.36	▽	19 ◎1.46	6 0.55	▽	1 0.33		▽	3 0.50	3 0.50		1 0.13	1 0.13		10
手足口病	987 0.32	5 0.17	1 0.04	▼	2 0.15		▼		1 0.33	△				3 0.38		▽	1
伝染性紅斑	2168 0.70	52 1.73	20 0.71	▼	34 ◎2.62	9 0.82	▽	10 ◎3.33	6 ◎2.00	▽	4 0.67	5 0.83	△	4 0.50		▼	20
突発性発しん	972 0.31	11 0.37	8 0.29	▼	2 0.15		▼	1 0.33	2 0.67	△	5 0.83	3 0.50	▽	3 0.38	3 0.38		8
ヘルパンギーナ	117 0.04	2 0.07	1 0.04	▼	2 0.15	1 0.09	▼										1
流行性耳下腺炎	308 0.10		1 0.04	△					1 0.33	△							1
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	14 0.02																
流行性角結膜炎	551 0.81	11 1.38	14 1.75	▲	9 2.25	14 3.50	▲							2 1.00		▽	14
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	25 0.05																
クラミジア肺炎	1 0.00																
マイコプラズマ肺炎	156 0.33	5 0.50	3 0.30	▼	3 0.75	3 0.75								2 0.67		▽	3
細菌性髄膜炎	11 0.02																
無菌性髄膜炎	10 0.02																

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
レジオネラ症	患者	1				
百日咳	患者	2				ワクチン接種歴:4回 2人。小児 2人。

<通信欄>

※年末年始の医療機関の休診に伴い、全体的に報告数が少なくなっています。
 ※第1週は、村山地区の定点医療機関数が変更になっています(インフルエンザ定点:19→17、小児科定点:13→11)。
 ※トピックスでインフルエンザについて掲載しています。
 (インフルエンザの迅速キットによる型別、集団発生状況については2ページをご覧ください。)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	5	26	7	11	11	11	13	20	7	10	30	7	28	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	30	21	18	21	14	10									301
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	5	1	1			1					1		1	13
咽頭結膜熱		1	2		1										4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	1	3	3	6	4	3	1	2	2	1		29
感染性胃腸炎		8	13	10	6	12	9	7	5	4	1	9	1	3	88
水痘		1	1	1			1		1	2		2	1		10
手足口病						1									1
伝染性紅斑			3	4	1	4	2	3		1	1	1			20
突発性発しん		4	3	1											8
ヘルパンギーナ				1											1
流行性耳下腺炎									1						1

< 平成30年11月 月報 >

2018年12月19日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～11月
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 11	17	6	6	1	1	2	5	2	5	194
	定点当り 1.10	1.70	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00	2.50	0.67	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 12	7	1	1	2	3	6	1	3	2	85
	定点当り 1.20	0.70	0.25	0.25	2.00	3.00	3.00	0.50	1.00	0.67	
尖圭コンジローマ	報告数 1	2			1			1		1	32
	定点当り 0.10	0.20			1.00			0.50		0.33	
淋菌感染症	報告数 4	6	2	2					2	4	42
	定点当り 0.40	0.60	0.50	0.50					0.67	1.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 6	7		1		1	1	1	5	4	77
	定点当り 0.60	0.70		0.25		1.00	0.50	0.50	1.67	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 31	21	16	7	1	1	1	1	13	12	222
	定点当り 3.10	2.10	4.00	1.75	1.00	1.00	0.50	0.50	4.33	4.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数 1		1								1
	定点当り 0.10		0.25								

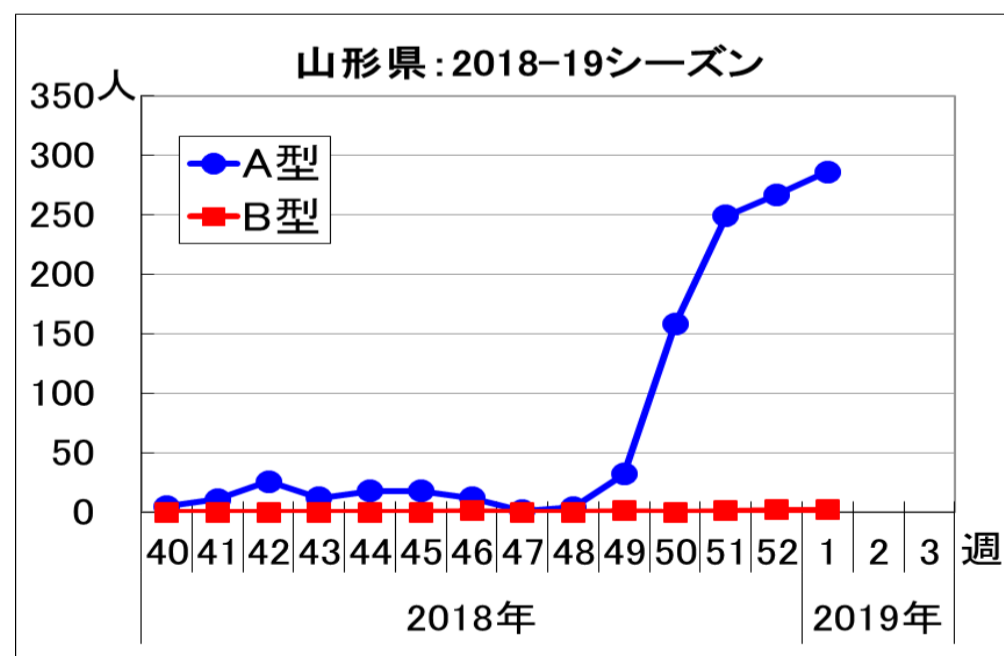
< トピックス >

インフルエンザが流行しています

第1週の県平均のインフルエンザの定点当たり報告数は6.84人であり、6週連続の増加となりました。地区別では、最上地区が注意報レベルとなっています。

・インフルエンザ
警報開始基準値: 30人 警報終息基準値: 10人 注意報基準値: 10人
・第1週 定点当たり報告数 (山形県: 6.84人)
村山 7.35人、最上 19.75人、置賜 4.10人、庄内 4.31人

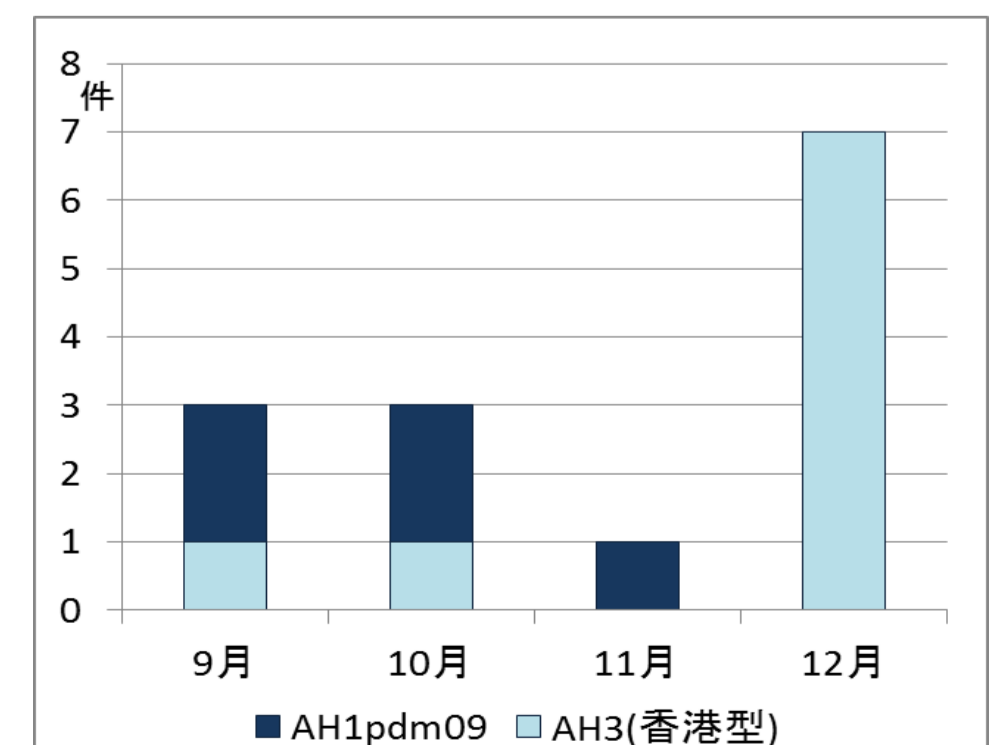
1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第1週)



	A型	B型
村山	123	1
最上	74	0
置賜	40	1
庄内	49	0
計	286	2

型別不明: 13件

2 インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 12月26日現在)

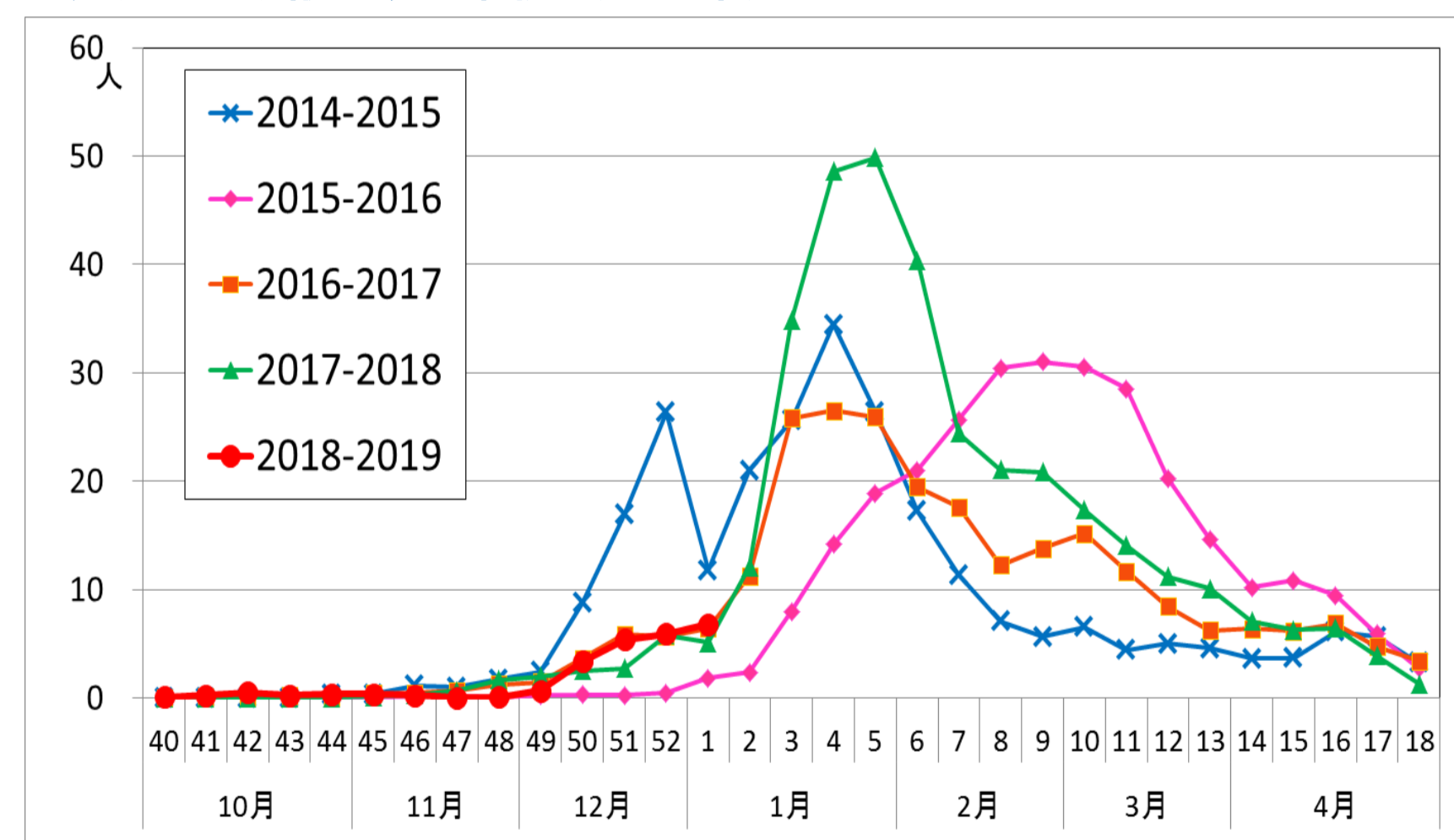


ウイルス型	検出数
A型	
AH1pdm09	5
AH3(香港型)	9
B型	
B型(山形系統)	0
B型(ビクトリア系統)	0

3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第1週)

インフルエンザの集団発生の報告はありません。

4 定点当たり報告数の推移(山形県)



インフルエンザは感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。こまめな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンを受けることで、重症化を予防することが期待できます。

かかったなと思ったら、症状が軽くても無理をして出勤したり登校したりすることは禁物です。早めに医療機関を受診し、発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日間(幼児は3日間)は自宅で静養しましょう。

「手洗い」、「マスク着用」、「咳エチケット」でインフルエンザ感染予防! かかったなと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

